

令和5年度全国学力・学習状況調査の結果および考察

大阪狭山市立第七小学校

1. 本年度の全国学力・学習調査結果の学力の概要について

- ・対全国比の平均正答率は、国語・算数ともに低くなっています。
- ・国語の調査では、「話すこと・聞くこと」について特に課題が見られました。また、問題の形式では、「短答式」と「記述式」に課題が見られました。
- ・国語の調査では、「記述式」の1問目の問題について、対全国比の無解答率が低くなっており、問題に取り組む前向きな態度が感じられました。
- ・算数の調査では、「図形」と「データの活用」の領域に課題が見られました。また問題形式では、「選択式」は良好でしたが、「記述式」については、課題が見られました。

2. 各教科における成果と課題について

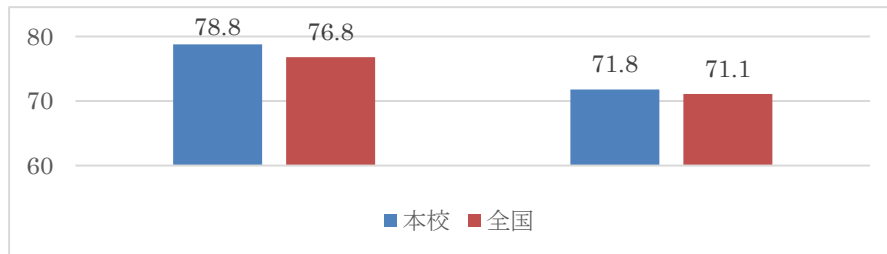
	成 果	課 題
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・送り仮名に注意して漢字を文の中で正しく使うことについては、概ねできていました。 ・目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することが、概ねできていました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の漢字を、文の中で正しく使うことに課題が見られました。 ・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることに課題が見られました。 ・日常よく使われる敬語についての理解に、課題が見られました。 ・目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして、必要な情報を見つけることに課題が見られました。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・台形の意味や性質についての理解が良好でした。 ・（ ）を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることが良好でした。 ・百分率で表された割合についての理解がかなり良好でした。 ・「以上」の意味を理解し、示された表から必要な数を読み取ることについて、良好でした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伴って変わる2つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述することについては、かなり課題が見られました。 ・正三角形の意味や性質についての理解は、かなり課題が見られました。 ・高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を記述することについて課題が見られました。 ・示された日常生活の場面を解釈し、求め方や答えを記述したり、示された棒グラフと複数の棒グラフを組み合わせたグラフを読み、見出した違いを記述することについて課題が見られました。

3. 児童質問紙調査の結果の概要について（肯定的評価の割合）

〈取組みの成果があらわれている、または特徴的であると思われる事項について〉

国語の授業で、立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている。

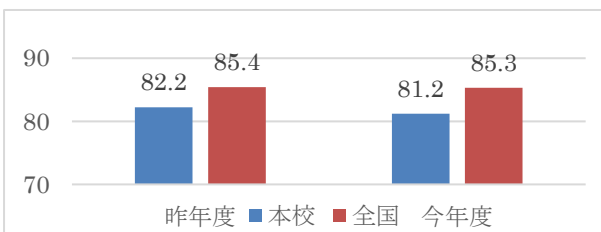
国語の授業で、書いた文章の感想や意見を学級の友だちと伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。



上の2つの項目について、肯定的な回答が全国平均よりも上回っています。本校の研究テーマ「主体的・対話的で深い学びができる授業をめざして」の実現に向けた国語科における授業づくりの成果が見られました。

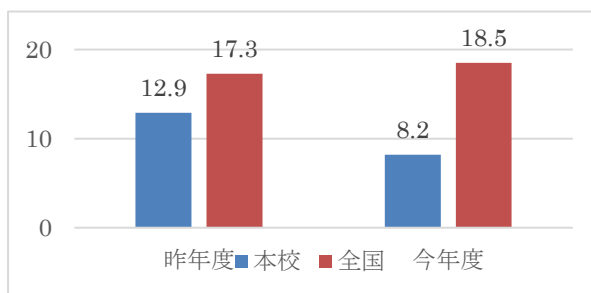
〈今後に向けて、課題と思われる事項について〉

学校に行くのは楽しい



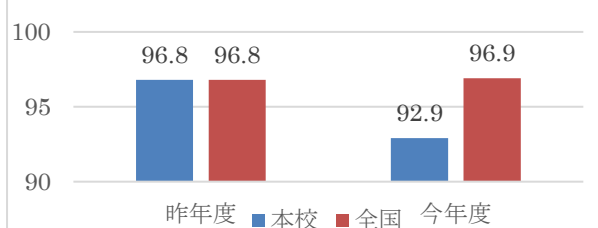
「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答の割合が、昨年度に引き続き、全国平均より下回っています。

平日、学校の授業時間以外に1日1時間以上読書をする



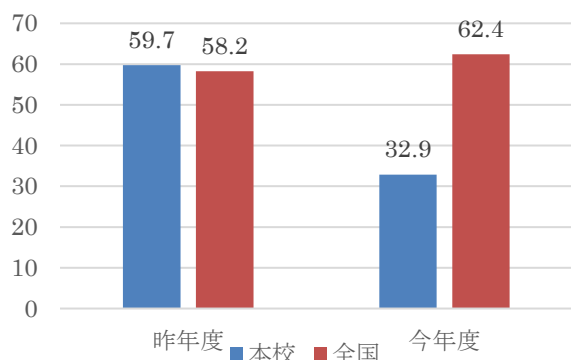
平日（月曜日から金曜日）の読書の時間（電子書籍も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）で、1日1時間以上の割合については、全国的には昨年度よりも増加していますが、本校は1日1時間以上読書をしている児童の割合が、昨年度よりも減少しています。

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う



「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、本校の肯定的な回答の割合が、昨年度は全国の平均と同じ数値でしたが、今年度は全国より下回っています。また、昨年度に比べて割合は減少しています。

PC・タブレットなどの ICT 機器を週に3回以上、授業で使用した



「5年生までの授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用しましたか」の質問に対して、週に3回以上使用したと回答した割合が、昨年度は全国平均を上回っていましたが、今年度は下回っています。また、全国的には、週に3回以上使用した割合は増加していますが、本校は、昨年度より減少しています。

4. 成果と課題を踏まえた今後の取組みについて

(1) 基礎・基本の確実な習得

「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、基礎基本の学習内容の定着を図ってまいります。既習事項をもとに単元の導入に取り組むことをふまえ、その反復確認も行ってまいります。
【具体的には…】

- ・朝学習で漢字・計算の復習プリントを継続してまいります。
- ・漢字の学習では、漢字の「書き方」とともに、「読み方」を何度も書いたり復唱したりすることで、五感で感じ、習得できるよう努めてまいります。
- ・言葉の意味を意識した学習をすべての教科で行ってまいります。
- ・ローマ字を習得するために、タイピング練習を続けてまいります。
- ・読書が好きな子を育成するために、読書の時間を確保し、読み聞かせをしたり本を紹介したりする機会を設けてまいります。
- ・「主語」「述語」などの関係を意識し、話したり書いたりする活動に取り組んでまいります。

(2) 魅力のある授業づくり

子どもが「やってみたい」「考えてみたい」と思う課題を設定するよう努めてまいります。そのためにも、生活のなかの身近な題材など、子どもの興味をひく導入を考えてまいります。また、「1時間のめあて」や「単元を通しためあて」を明確に、問題解決的な学習展開を行い、「自分で考える」「伝え合う」「練り上げる」思考場面の充実を図ってまいります。この一連の学習過程を通して「主体的・対話的で深い学び」の実現に努めてまいります。

経験年数の少ない教員の授業力のさらなる向上をめざし、中堅、ベテラン教員、専門性をもった教員が「校内ミニ学習会」の講師となり、学校全体の教育力をあげていく取組みを継続して行ってまいります。今年度は、特に ICT の活用に関する基礎的な研修を企画し、取り組んでいます。

【具体的には…】

- ・Google フォーム、Google Meet、オクリンクなどを使用し、児童と教員、児童同士でのやりとりを授業の中に定期的に取り組むよう努めます。
- ・学んだことを発信できる場として ICT を取り入れる授業を展開してまいります。
- ・取り組む過程で、「自分で考える」「伝え合う」「練り上げる」思考場面を増やし、思考力や表現力を養えるよう努めてまいります。

(3) 言語活動の充実

子どもたちの資質・能力を育成するため、校内研修テーマ「子どもが主体的・対話的で深い学びができる授業をめざして」を基軸とし、特に「対話を通して自分の考えを伝えられる力」を育むことで、言語能力の育成をめざしてまいります。日々の授業の充実とともに全学年で校内研究授業を行い、教職員同士が相互評価できる場の充実を進めてまいります。

【具体的には…】

- ・日常生活に生かせるような言語活動を単元のゴールとして設定し、物語文や説明文等の学習後に児童が主体的に取り組める言語活動を積極的に取り入れた授業を展開してまいります。
- ・3年生以上は、「ことばノート」を積極的に活用し、語彙を増やす活動を取り入れるよう努めてまいります。
- ・目的意識と相手意識をもって単元のゴールに向かうよう授業を展開してまいります。
- ・問題を解決するためにペアやグループ学習を取り入れ、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりして、学習内容を深めてまいります。
- ・相互評価を取り入れることで、あたたかい集団づくりの基礎を養い、話しやすい雰囲気をめざしてまいります。

5. 保護者・児童・生徒のみなさんへ

<保護者のみなさんへ>

- ・「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と答えている児童の割合が、全国平均より上回っています。規則正しい生活にご留意いただいていることが分かりました。ただ、「朝食を毎日食べている」と答えている児童の割合が、全国平均よりも下回っており、昨年度の本校の割合よりも下回っておりました。子どもたちの健やかな成長のため、今一度「早寝、早起き、朝ご飯」につきまして、ご支援ください。
- ・「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に対して、全国平均（83.5%）を上回る87.1%の児童が肯定的な回答をしていました。日頃から子どもたちのよいところを見つけて、それを的確に褒めてくださっている成果だと思われます。学校でも「褒めて育てる」ことを念頭におき、指導にあたってまいりますので、今後とも温かいお声かけ、よろしく願いいたします。
- ・「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という質問に対して、肯定的な回答をしている児童の割合が9割以上ではありますが、全国平均よりも下回っており、昨年度の本校の割合よりも下回っておりました。道徳をはじめ、さまざまな教育活動を通して、定期的に「いじめ」について考える機会を設けてまいります。

<児童のみなさんへ>

- ・学校の授業時間以外での勉強や読書をする時間が全体的に少ないようです。少しずつでもよいので、お家で（宿題以外の）自主勉強や読書をする時間を設定してみて、計画的に取り組める習慣を身につけましょう。
- ・自分が好きなことや興味を持ったことについて、新聞記事や市の図書館や学校の図書室の本で調べたり、書かれている文章を読んだりしてみましょう。多くの文章に出会うことで、知識が増えるとともに、長い問題文を読んで、正しく問題の意味を理解して、答えることができるようになります。